

2022年度「女性の相談に携わる人のための実践研修」アンケート結果

特定非営利活動法人 やっぺす

実施：2022年9月20日（火）	オンラインにて実施	
21日（水）	やっぺす事務所1階	ホールにて実施
参加人数：20日オンライン受講	9名	
20日分録画受講	3名	
21日現地受講	8名	<u>合計のべ人数 20名 実人数 13名</u>

アンケート回答率：75%

参加者の立場について（13名中）

相談業務担当職員 7名 相談員 6名

1) 講座①男女共同参画の視点による相談事業について

<講義の満足度>

満足 55.6% ほぼ満足 33.3% 普通 11.1%

<講義の感想>

- ・相談業務は日が浅いので、用語自体も馴染みがない状況ですが、実践にも通ずる内容でもありとても参考になりました。
- ・男女共同参画の視点は、女性に関らず人権尊重が基本であることを改めて認識できました。相談事業のシステム化を実行したいと思いました。
- ・男女共同参画が進んでいるヨーロッパ諸国も現在の日本のように進んではいけない状況から、制度自体を変えていくことで男女共同が進んだということを知り、日本においても積極的に啓発を進めていけばと気付かされた。時代の変化による新しい問題もできる中で、時代に応じた啓発を進めていければと思いました。
- ・復習になりました
- ・相談事業のシステム化についてがとても参考になりました。

2) 講義②DV被害者の心理と相談の留意点

<講義の満足度>

満足 66.7% ほぼ満足 33.3%

<講義の感想>

- ・石巻の人も相談に来るといってお話が印象的でした。自分の周りにはDVの話は聞かないけれど、

現実に存在していて緊張感を持って接しているというスタンスに触れることができました

- ・門間代表の具体的なお話が勉強になりました。つながりたいです、ぜひ。
- ・理解しやすい内容でよかった。とても勉強になり感謝です。なるほどなるほどと聞き入ってしまいました。重大な立ち位置に心の動揺も若干感じました。
- ・事例を交えた説明がわかりやすかった
- ・相談員としての相談員への向き合い方、大切なことが盛り沢山で学びとなりました。1.25倍速でも聞き取りやすくわかりやすかったです（流石です！）

3) 20日全体について

<満足度>

満足 55.6% ほぼ満足 44.4%

<感想>

- ・20日の講義の後、重たい気持ちになったというのが正直な感想でした。女性相談の後ろに子どもがあるというのは、実感するところですが、関わり方によってはその母子に大きく左右すると思うと、まだ経験の浅い私としては、とても責任を感じてしまいました。相談者、相談員にとって連携機関を複数もつことが、本当に必要だと感じます。
- ・講義内容は充実しており、オンラインでしたがオリエンテーションや講義終了後も和やかな雰囲気共有できて良かったです。
- ・大変勉強させていただきました
- ・今後、聞いたお話を参考にさせていただき、相談業務をやっていきたいと思いました。

4) 講座③ピアスーパービジョン～仲間とともによりよい支援を

<講義の満足度>

満足 83.3% ほぼ満足 16.7%

<講義の感想>

- ・ピアスーパービジョンを意識して行う必要性を感じました。団体にスーパーバイザーがいると、より安心でより良い相談につながるのだらうと思います。
 - ・相談者を支える、相談員同士も支え合う。お互いの繋がりの中で、エンパワーメントしていきたいと感じました。
 - ・スーパービジョンの手法について具体的に知ることができました。当相談室では一歩進め、専門家によるスーパービジョンを取り入れていきたいと思いました。
 - ・相談員が1人で相談者の対応することは困難であり、ピアスーパービジョンによる共有や振り返りの重要性を学びました。また、当相談室において、相談員間のピアスーパービジョン、記録票作成によるセルフスーパービジョンがなされていたことに気付かされました。
 - ・奥野先生の実例など、もう少し聞きたかったです。
- 最初はピアスーパービジョンのピアって何ですか？と聞けませんでした。ですが、距離感の近い講

義でしたし、先生の進行のおかげで、だんだんと室内でのピアともスーパービジョンできていったように感じました。

5) 演習 相談員の対応姿勢と相談援助演習

<講義の満足度>

満足 66.7% ほぼ満足 33.3%

<講義の感想>

・実務でマッピング技法は使用していませんでしたが、相談者を取り巻く状況がわかりやすくなると思いました。継続相談者や複雑なケースにまずは取り入れてみたいと思いました。面談の演習において、相談員役へのメッセージをいただき、自分の相談態度や口調などの癖、留意すべき点に分かり、演習の大切さを感じました。

6) 2日目全体について

<満足度>

満足 83.3% ほぼ満足 16.7%

<感想>

- ・本研修での相談者と相談員の心のケアについて今後の相談室運営に活かしていきたいと思いません。
- ・講義・演習とも実践に役立つ内容でよかったです。NPO 団体と行政が、同じ研修を受講することは連携強化にも役立つと思っています。今回、大崎市へもお声がけをいただきありがとうございました。
- ・本研修での相談者と相談員の心のケアについて今後の相談室運営に活かしていきたいと思いません。
- ・オンラインでの講義も集まらなくて良いメリットがあったし、少人数の学びだからこそその空気感がとても良かったなと思いました。

7) 今後学びたいこと

- ・相談のロールプレー等、実践を伴う研修
- ・門間代表の例のケースもっと聞きたいです。
- ・報告書の書き方について、もっと学びが必要だと感じています。
- ・グループスーパービジョンやツインリフレクティング等を体験し、通常業務のスキル向上に繋がりたい。
- ・奥野先生のご講義にあったオープンダイアログ（専門家のスーパーバイザー付き）
ピアサポートの仕方（当事者同士の語り合いの場の設定とやり方）
- ・対応が困難な相談ケースなどの具体的な内容及び対応結果についてお話を聞ければと思います
- ・実際の相談の内容と、その対応の実例の学び

・ケーススタディ。演習でロールプレイの時間がありましたけど、ガヤガヤしていたことと相手が小声でマスクよく聞こえなかったので、相槌しかできないで終わったということがありました。経験の浅い私は他の人がどういう風に相談やってるのか、どういう風なやりとりをしてるのか知りたいです。

8) その他質問など

・男女共同参画相談員が専門家にスーパービジョンを依頼する場合、どのような機関に派遣を依頼すればよいのでしょうか。

・柴田さんへ 今年は大雨被害に応じた相互支援ネットのスレッド立ち上げメールが多いという印象です。宮城県大崎市も7月15日からの大雨で避難所開設がありましたが、幸い短期間で避難所は閉鎖しました。令和元年豪雨災害の時には避難が長期化したこともあり、昨今は平時における災害時の備え・備蓄・企業や姉妹都市との災害時協定などにより、素早く物資が調達できるようになってきました。ただ、避難が長期化すると、避難所で生活する方々の心身への負担が増大していくため、保健面でのサポートや男女共同参画視点の相談員を派遣することの必要性を感じています。災害は来ないに越したことはありませんが、初動対応で避難所の環境整備に貢献できる相談体制でありたいと思います。男女共同参画センターは都道府県でも大きな都市にしかありませんので、周辺の自治体も支援情報が受けられるよう、今後も参加自治体が増えるよう働きかけをお願いいたします。(研修と関係ない内容で申し訳ありません)